

バイオマスエネルギーを体験してみよう

農学、環境学、機械工学

農研機構 東北農業研究センター

会期：2014年8月5日(火)～8月7日(木) 2泊3日

農研機構東北農業研究センターは、東北地域の豊かな自然資源を活用した農業と食品産業の発展に貢献するため、寒冷地に適した水稻、小麦、大豆等農作物の品種改良、高品質・低コスト化栽培技術、寒冷気候を活用した安定生産技術、環境保全型農業、地域特産物の機能性解明等に関わる技術開発を行っています。

今回のキャンプでは、農村地域におけるバイオマス利用によるエネルギー自給や環境負荷低減を実現するための研究を中心に、(1) ナタネ油のディーゼル燃料利用実験、(2) ナタネ品種改良の最前線、(3) 木質バイオマスを用いた固形燃料利用実験、(4) ススキが燃料になる、(5) ナタネ生産及び廃食用油の燃料利用の現状、(6) 廃食用油のバイオディーゼル変換施設等について、講義、実習体験を通じて理解を深めていただきます。



会場

農研機構 東北農業研究センター
岩手県盛岡市下厨川字赤平 4
IGR いわて銀河鉄道「厨川駅」より、徒歩 8 分。
もしくは、JR「盛岡駅」よりバス約 25 分)
URL : <http://www.naro.affrc.go.jp/tarc/>
宿泊場所：北辰興農閣 宿泊施設

募集人数

10 名

キャンプのプログラム内容 (予定)

(1) ナタネ油のディーゼル燃料利用実験
ナタネを搾油してディーゼル燃料として利用するための加工処理、農業機械への利用事例を学び、搾油、燃料加工技術等を実習します。

(2) ナタネ品種改良の最前線
東北農研におけるナタネの品種開発、様々なナタネの利用を学び、品種による特性の違い等についてナタネ種子から抽出した油の成分分析(脂肪酸組成等)を実習します。

(3) 木質バイオマスを用いた固形燃料利用実験
未利用木質バイオマスとして利用が進んでいないリンゴ剪定枝や作物残渣等の燃料利用について、バイオマスボイラー型穀物乾燥機への利用事例を学び、燃料利用技術等を実習します。

(4) ススキが燃料になる
東北農研で栽培している、国内外から収集した様々なススキ類を見学し、ススキの特徴、バイオ燃料化を目的としたススキの改良技術等について学習します。

(5) ナタネ生産及び廃食用油の燃料利用の現状
耕作放棄地等を利用したナタネの生産、地場搾油による食用油生産、低品質油や廃食用油を用いたバイオディーゼルの製造と利用等の国内外の現状を学びます。

(6) 廃食用油のバイオディーゼル変換施設
いわて生協が家庭から廃食用油を回収してバイオディーゼルに変換し、自社の配送用トラックの燃料に利用している現場を見学します。

スケジュール (予定)

1日目 8月5日(火)
13:00～13:30 開講式・オリエンテーション
13:30～14:30 研究成果展示室見学
14:30～17:30 ナタネ油ディーゼル燃料利用実験(講義、実習)
17:30～19:00 講師等との交流会

2日目 8月6日(水)
9:00～12:00 ナタネ品種改良の最前線(講義、実習)
12:00～13:00 昼食
13:00～15:00 木質バイオマスを用いた固形燃料利用実験(講義、実習)
15:00～16:30 ススキが燃料になる(見学、講義)
16:30～17:30 ナタネ品種改良の最前線(続き)(講義、実習)

3日目 8月7日(木)
9:00～ 9:30 ナタネ生産及び廃食用油の燃料利用の現状(講義)
9:30～11:00 廃食用油のバイオディーゼル変換施設(見学)
11:00～12:00 発表とりまとめ
12:00～13:00 昼食
13:00～14:00 発表・討論会
14:00～14:30 閉講式・解散

※1、2日目の夜は宿舎でミーティングを行います。



会場からのひとこと

東北農業研究センターは東京ドーム 49 個分に相当する広大な面積があります。また、所内から、西方に雄大な「岩手山」、北側に「姫神山」を望むことができ、美しい景色を楽しめます。こちらもご期待下さい。